

### ワイヤレスヘッドホンシステム

型名 **HA-WD50-B** (ブラック)

**HA-WD50-W** (ホワイト)



イラストはHA-WD50-Bです。

### \*お買い上げありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。

© 2012 JVC KENWOOD Corporation  
LNT0151-001A

### 主な仕様

送信機 (HA-WD50T)	
送信周波数帯	2.4 GHz 帯
変調方式	FH-SS方式
受信距離	約 30メートル (使用条件によって変わります。)

ヘッドホン (HA-WD50R)	
型式	ダイナミック型 スピーカーユニット: 口径30mm
再生周波数帯域	35Hz~21,000Hz
電源	付属の専用充電式ニッケル水素電池 (1.2V/700mAh) × 2
電池持続時間	約10時間 (1mW+1mW出力時) (付属の専用充電式ニッケル水素電池使用時) (使用条件によって変わります。)
質量	約210g (付属の専用充電式ニッケル水素電池×2含む)

- ・ 本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

### 部品交換・購入の際には

以下の部品は消耗品です。ご購入の際、またはお問い合わせの際は、下記の型名と品名、部品番号を、本製品をお買い上げいただいた販売店、または最寄りのサービス窓口へお伝えください。

型名:HA-WD50	部品番号
専用充電式ニッケル水素電池	JD1010-000A
イヤークッション(カラー:黒/左側用)	JD9095-00BA
イヤークッション(カラー:黒/右側用)	JD9096-00BA
イヤークッション(カラー:白/左側用)	JD9095-00WA
イヤークッション(カラー:白/右側用)	JD9096-00WA
専用ACアダプター	JD1014-000A

### 保証とアフターサービス

- **保証書は必ずお受け取りください**  
この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- **保証期間について**  
保証期間はご購入日(日)より1年間です。保証書の規定に従って、お買い上げ販売店にて修理させていただきます。その他詳細は保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理について**  
保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理いたします。
- **補修用性能部品の保有期間について**  
当社は、このワイヤレスヘッドホンシステムの補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- **修理を依頼されるときは**  
「故障かな?と思ったら」の各項目をよくお読みのうえ、再度お調べください。それでも症状が改善されないときは、お買い上げの販売店に次のことをお知らせください。  
ワイヤレスヘッドホンシステム [HA-WD50]  
お名前とおとこ  
電話番号  
故障症状(詳しく)
- **アフターサービスについてご不明な点は**  
ご購入、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報、お問い合わせへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

**ご相談や修理は**

製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

**お買い物相談や製品についての全般的なご相談**  
JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

**☎0120-2727-87**  
携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は  
電話 (045) 450-8950  
FAX (045) 450-2308  
〒221-0022  
神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ホームページ <http://www.jvckenwood.co.jp/>  
株式会社 JVCケンウッド  
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

### ワイヤレス機能について

- ・ 本機は電波法および電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、技術基準適合証明を受けております。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
- ・ 本機は、日本国内のみでご使用いただけます。
- ・ 以下の行為は行わないでください。  
- 分解や改造を行う。  
- 本体に貼り付けている技術適合証明ラベル(☑マークを含むラベル)をはがす。
- ・ 本体の無線表記について

**2.4 FH8**

2.4: 2.4 GHz帯を使用する無線設備を表します。  
FH: FH-SS方式を表します。  
8: 想定される干渉距離が、80メートル以内であることを表します。

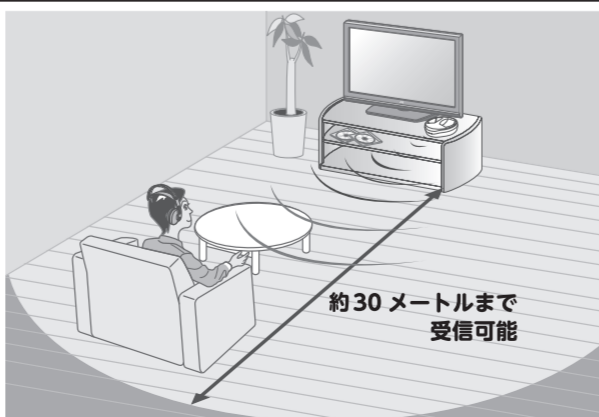
全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表します。

- ・ 本機と同じ2.4GHz帯の電波を使用する機器の影響によって音が途切れたりノイズ(雑音)が出る場合があります。また、本機からも他の機器に影響を与える可能性があります。そのような場合は、干渉する機器を離したり設置する向きを変えるなどしてご使用ください。

### ワイヤレスヘッドホンの受信距離について

本機は、送信機に接続した機器の音声をヘッドホンで無線受信します。送信機から受信可能な距離は、約30メートル\*です。

- \* 送信機から受信可能な距離は、周囲の環境や建物の構造により異なります。送信機とヘッドホンの間に電波をさえぎる障害物(金属のドア、壁など)があると、受信距離は短くなります。また、送信機は電波を反射しやすい壁の近くや、電波を放射しにくいスチールラックなどの場所を避けて設置してください。



### 安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- **絵表示について**  
製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。内容をよく理解してから本文をお読みください。

● **絵表示の説明**

注意をうながす記号

行為を指示する記号

行為を禁止する記号

### ヘッドホン・送信機・ACアダプターについて

**⚠ 警告**

- 心臓にペースメーカーを装着している方は使用しない。  
ペースメーカーが、本システムの電波の影響を受ける場合があります。
- 病院などの医療機関、医療機器の近くでは本製品を使用しない。  
電波の影響によって機器の誤作動が発生し、事故の原因になります。

■ 万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

- ・ 煙が出ている、異臭がする
- ・ 内部に水や物が入ったとき
- ・ 落ちたり、破損したとき
- ・ 電源コード(ACアダプター)が傷んだとき

このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を「切」にし、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。  
故障、火災・感電の原因になります。

■ この機器を分解・改造しない。  
故障、火災・感電の原因になります。

■ 火のそばや熱器具の周辺など高温になる場所で、使用したり、充電したり、放置しない。

■ 送信機の充電端子を、金属製のネックレスやコインなどの金属小物でショートさせない。

■ ニッケル水素充電電池と本機の取り扱いについて  
充電するときは必ずこの機器(ヘッドホン・送信機)を使用する。この機器で、付属の充電電池以外を充電しない。

### 充電式電池について

**⚠ 警告**

■ 電池のプラス(+)とマイナス(-)の向きを正しく入れる。  
電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ 火の中に投入したり、加熱しない。

■ 電池をショートさせない。また、金属製のネックレスやコインなどの金属小物といしょに携帯または保管しない。

■ 変形させたり、分解、改造したり、直接はんだ付けしない。  
故障、火災・感電の原因になります。

■ 電池を小さなお子様の手の届くところに置かない。  
誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師と相談してください。

■ 充電の際に所定の充電時間(約5時間)を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめる。

### 使用上のご注意

- ・ 本機の近くでラジオや携帯電話などをお使いになると、ノイズが入ることがあります。そのときは本機から離してください。
- ・ 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く、湿度の多いところでの使用、放置は故障の原因になりますので避けてください。
- ・ ヘッドホンなどが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止してください。使用を続けることと炎症やかぶれなどの原因になることがあります。
- ・ イヤークッションは通常の使用や保存状態でも、経年変化で自然劣化する場合があります。劣化時は早めにイヤークッションの交換をお勧めいたします。  
➡ **部品交換・購入の際には**
- ・ 汚れがひどい場合は中性洗剤などでふきとってください。シンナーやベンジンなどは絶対に使わないでください。

### 充電式電池のリサイクルについて

このマークはニッケル水素充電電池のリサイクルマークです。(付属充電電池の金属部分にテープを貼り、絶縁してお持ちください。)

付属の充電式電池にはリサイクル可能なニッケル水素充電電池を使用していますので、ご使用済みの充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

お問い合わせ: 有限責任中間法人JBRC <http://www.jbrc.net/hp/>

## はじめてお使いになる場合は

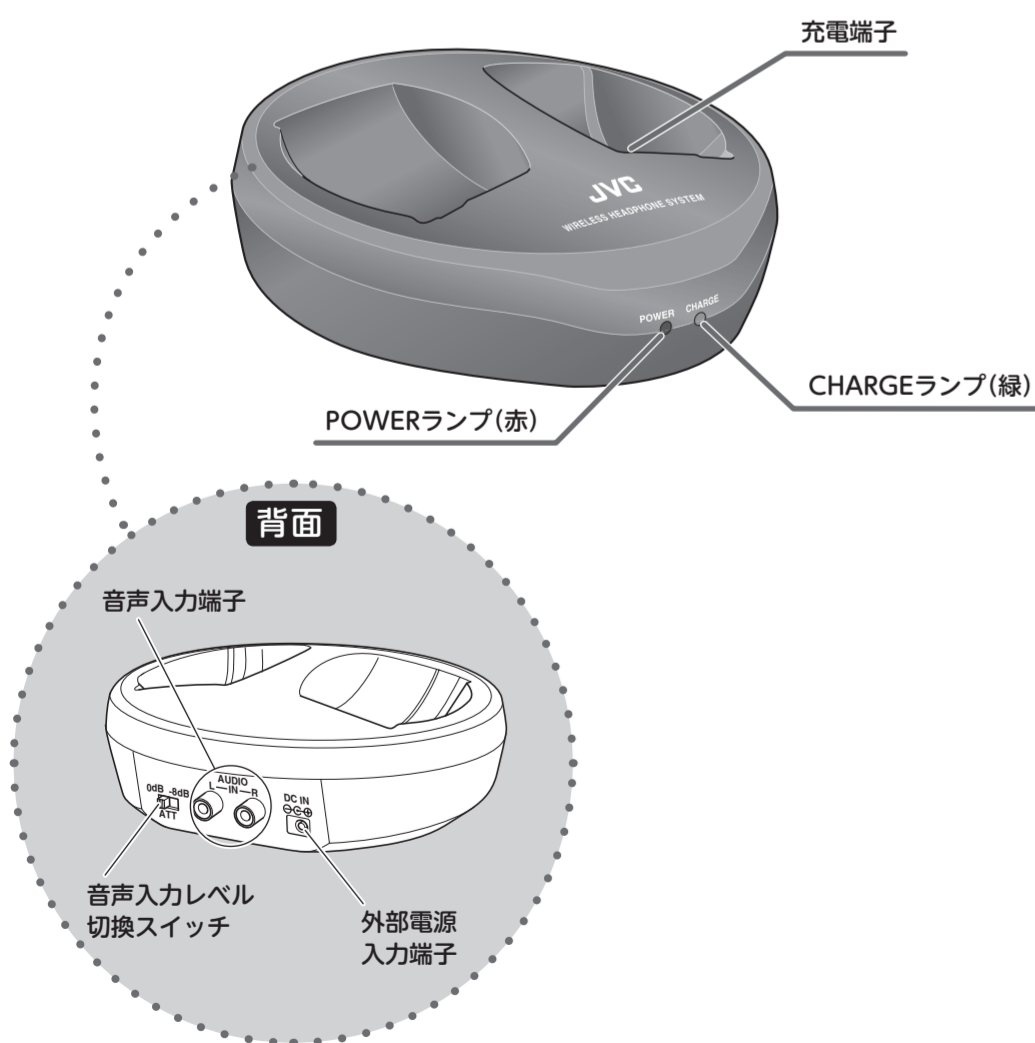
本機は充電式のヘッドホンです。お買い上げ時には十分に充電されていません。お使いになる前に「4. 充電する」の項目をご覧ください。必ず充電を行なってください。

## 各部の名称

### ヘッドホン



### 送信機



### お知らせ

2.4GHz帯デジタルワイヤレスの特性上、信号伝達の遅延による音の遅れが若干発生します。これは映画や音楽などを鑑賞する場合、一般的には遅れを感じないレベルですが、ご使用の用途やご使用状況によっては、遅れを感じる場合があります。

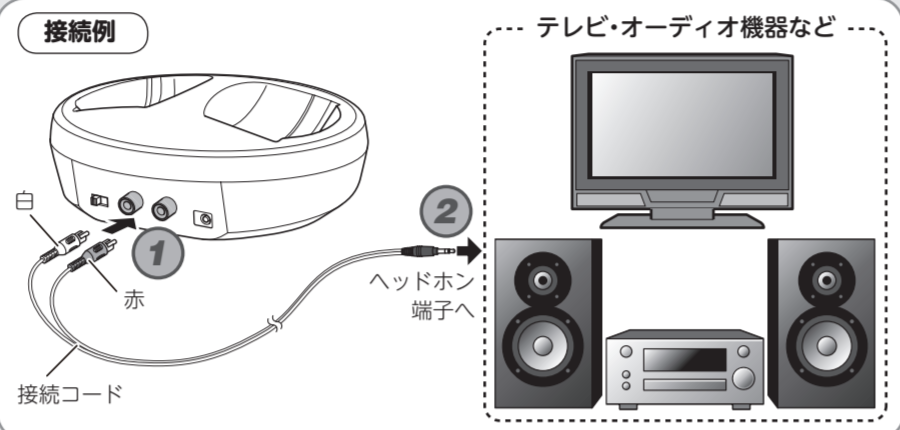
## 1. 接続する

### ご注意

- 接続コードを抜き差しするときは、接続した機器(テレビやオーディオ機器など)の電源を切るか、音量を最小にしてください。
- コードは伸ばして使用してください。束ねたままでの使用はしないでください。

### 接続コードの接続

- 送信機の音声入力端子に接続コードの赤と白のプラグを接続する。
- テレビやオーディオ機器などのヘッドホン端子に接続コードの黒のプラグを接続する。



### ご参考に

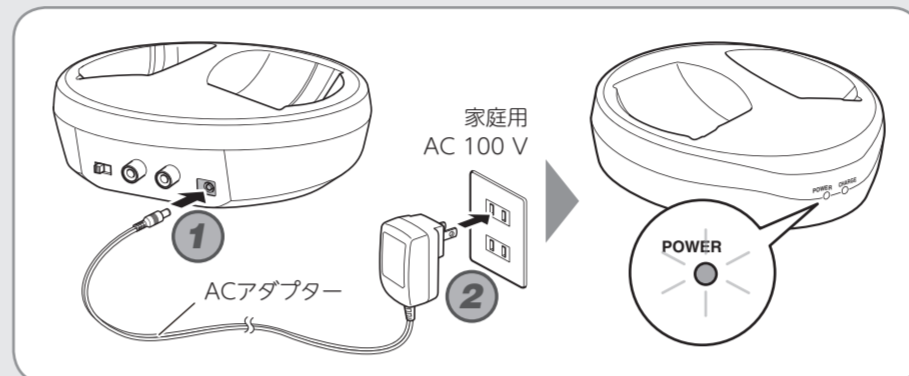
テレビのヘッドホン端子にプラグを接続するとテレビのスピーカーから音が出なくなる場合があります。テレビのスピーカーとヘッドホンの両方から音を出したい場合は、次のいずれかの方法をお試しください。

- テレビ側の音声出力設定をテレビのスピーカーとヘッドホンの同時出力に設定します。(設定はテレビのメニュー画面などから行います。)
- テレビにモニター出力端子がある場合は、モニター出力端子に別売のオーディオコード(CN-181G)を接続します。

テレビのヘッドホン端子やモニター出力端子の出力仕様や設定の詳細はテレビの取扱説明書をお読みください。

### ACアダプターの接続

- 送信機の外部電源入力端子にACアダプターを接続する。
- コンセント(家庭用AC100V)に接続する。  
送信機のPOWERランプ(赤)が点滅の後、音声入力端子に音声入力があると点灯し、音声入力が無ければ消灯します。



## 3. 操作する

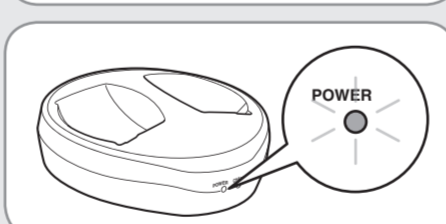
- ヘッドホンのPOWERボタンを1秒以上押し、電源を入れる。

電源ランプ(赤)が点灯します。電源を入れると、信号ランプ(緑)が点滅し、送信機の電波を受信すると点灯します。



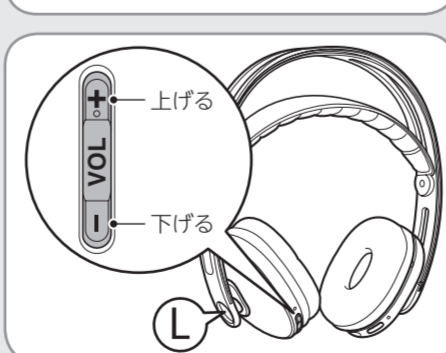
- 接続した機器(テレビやオーディオ機器など)の電源を入れる。

音声信号が入力されると自動的に送信機の電源が入り、送信機のPOWERランプ(赤)が点灯します。



- ヘッドホンのVOLボタンを押して、音量を調節する。

- 音量を最大にしても音が小さい場合は、接続した機器(テレビやオーディオ機器など)の音量を上げてください。
- 音量が最小または最大になると、ピー音でお知らせします。



### 音がひずむときは

送信機の音声入力レベル切換スイッチを「-8dB」に切り換える。

- 音声入力レベル切換スイッチを切り換えても音がひずむときは、接続した機器(テレビやオーディオ機器など)の音量を下げてください。



## 4. 充電する

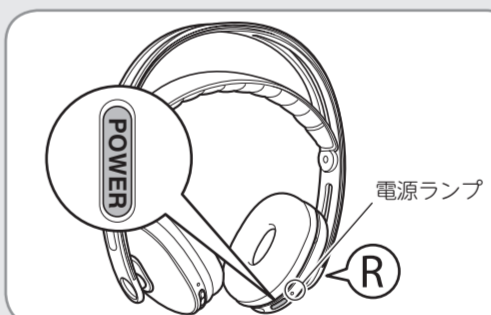
### ご注意

- 充電端子にゴミやほこりがたまっているときは、取り除いてから充電してください。

- ヘッドホンのPOWERボタンを1秒以上押し、電源を切る。

電源ランプ(赤)が消えます。

- 音声の入力が約3分間ないと、送信機からの電波を停止し、自動的に送信機とヘッドホンの電源が切れます。  
- 音声の入力がないと、送信機のPOWERランプ(赤)が点滅し、電源が切れると消えます。



- ヘッドホンのR(右)側(下部)と送信機の充電端子を合わせ、ヘッドホンを両手でしっかりと送信機の上に置く。

充電を開始すると、送信機のCHARGEランプ(緑)が点灯します。点灯しない場合は、ヘッドホン置きなおしてください。



### 充電の目安

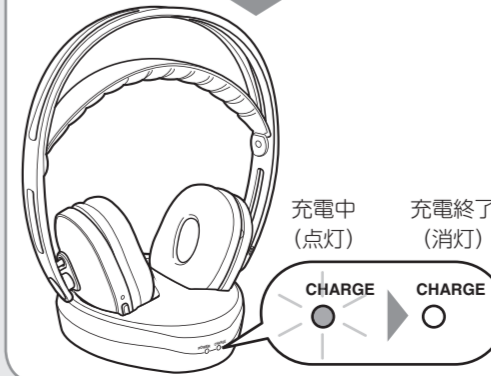
- 音が出ないとき。
- 音がひずんでいるとき。
- ヘッドホンの受信距離が短くなったとき。
- 電源ランプがつかないとき。

### 充電時間の目安

- 充電電池の残量が無い状態から約5時間で満充電になります。
- 満充電で約10時間使用できます。(使用条件によって変わります。)
- 充電が終了すると、送信機のCHARGEランプが消灯します。
- 充電が終了した後にヘッドホンを送信機に置きなおすと、十分に充電されている状態でも再び充電が始まります。CHARGEランプが消えるまでしばらく時間が必要ですが、故障ではありません。

### 十分に充電しても使用できる時間が短くなった

充電電池の交換時期です。充電電池を交換するときは必ず指定の充電電池をご利用ください。詳しくは、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。  
→「部品交換・購入の際には」(1ページ)

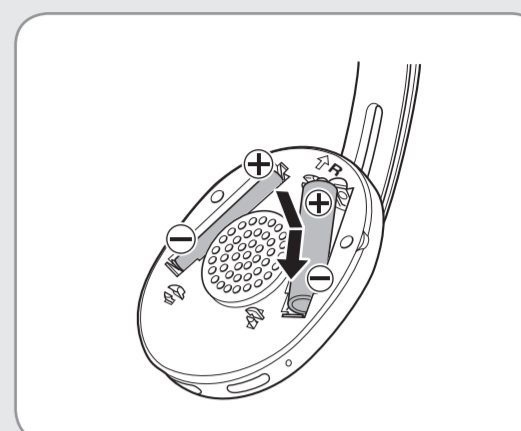
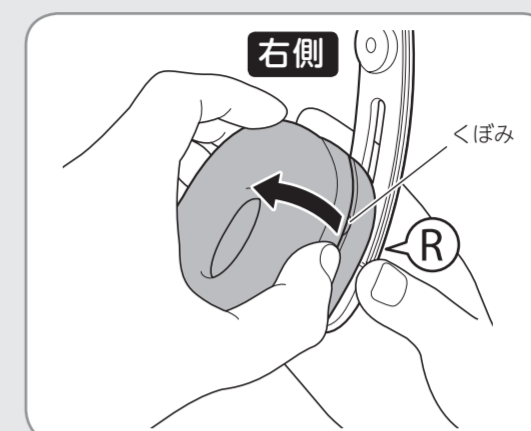


## 2. 電池を入れる

### ご注意

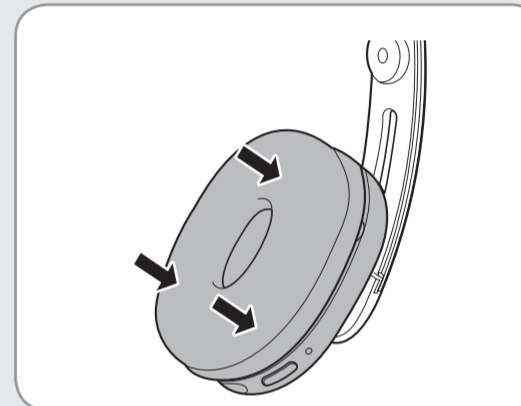
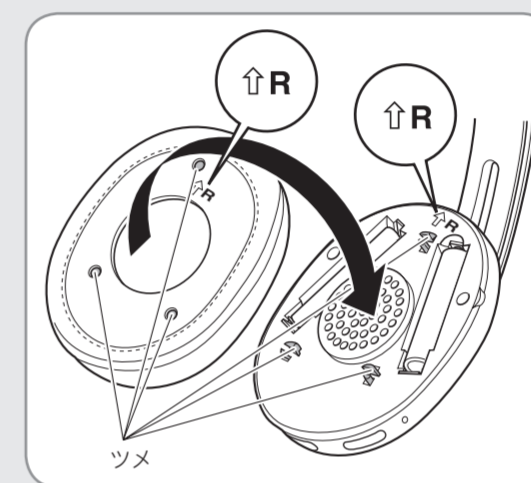
- 電池を入れる際、ヘッドホン内部に金属などの異物が入らないようご注意ください。

- R(右)側のハウジングのくぼみに指を入れて、イヤerpッドをははずす。
- 電池をマイナス(⊖)側から入れる。



- 右側のイヤerpッドとハウジングの3個所のツメの位置を合わせる。
- イヤerpッドをハウジングに取り付ける。

「カチッ」と3個所のツメが止まる音がするまでイヤerpッドを押し込んでください。



## 故障かな?と思ったら

症状	対処
ヘッドホンの電源を入れても音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘッドホンの音量を上げてください。</li> <li>接続した機器(テレビやオーディオ機器など)の音量を上げてください。</li> <li>接続した機器(テレビやオーディオ機器など)の電源を入れて、再生を開始してください。</li> <li>送信機と接続する機器(テレビやオーディオ機器など)を正しく接続してください。</li> <li>送信機にACアダプターを正しく接続してください。</li> <li>送信機とヘッドホン近づけてください。</li> </ul>
L(左)側からしか音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>モノラル機器に接続すると、L(左)側しか聞こえません。別売りの変換アダプター(AP-112A)をお使いください。</li> </ul>
音がひずむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘッドホンの音量を下げてください。</li> <li>接続した機器(テレビやオーディオ機器など)の音量を調節してください。</li> <li>送信機の音声入力レベル切換スイッチを「-8dB」に切り換えてください。</li> <li>充電をする、または新しい電池と交換してください。</li> </ul>
音が途切れる、ノイズ(雑音)が出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>充電をしてみてください。</li> <li>送信機と接続した機器(テレビやオーディオ機器など)が正しく接続されているか確認してください。</li> <li>送信機とヘッドホンの周辺にある、2.4GHzの周波数を使用する機器(電子レンジ、無線LAN、コードレス電話など)を本機から離してください。</li> <li>新しい電池と交換してください。</li> </ul>
充電できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>送信機にヘッドホンのL/R(左右)を確認してきちんと置いてください。</li> <li>送信機やヘッドホンの充電端子に汚れがないか確認してください。汚れがある場合は、柔らかい布でふいてください。</li> <li>ACアダプターの接続を確認してください。</li> </ul>